

よいことの
ために
手を取りあおう



Weekly Bulletin

UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取りあおう

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツォ

静岡ロータリークラブ ●例会日／毎週月曜日12:30～13:30 ●例会場／グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長／児玉 俊明 ●副会長／坂上 康 ●幹事／川崎 裕司 ●副幹事／山本 芳司・瀧上恵美子

2025-2026 10月6日 ☀ 第3752回例会

ゲスト卓話「ベトナムから日本へ私の故郷と留学の大学生活」



●ロータリーソング●



ソングリーダー
鈴木 礁君

●ゲスト紹介●

米山奨学生 トラン・スアン・ヒョウ様

●会長挨拶●

会長 児玉 俊明 君

本日10月6日は中秋の名月です。先月の観

月会の際はあいにくのお天気でしたが、今夜はどうでしょうか。満月は明日のようです。さて、10月は米山月間ということで、米山奨学生のトラン・スアン・ヒョウさんに卓話をいただきますが、きょうの会長挨拶では米山梅吉翁について少しお話をさせていただきます。梅吉は明治と改元される時に江戸で生まれ、父が早くに亡くなったため、母親の実家の長泉町に移り住みましたが、幼児より神童と呼ばれていたようです。そこで旧家の米山家に見初められ養子となります。その後、数々の学校に入学しますが、そこで恩師とい



うべき先生方や生涯の友人、生涯の恩人と出会います。つまり、今で言うところの「持っている人」なのでしょう。皆様素晴らしい

方々でした。その生涯の恩人の義理の父が井上馨卿で、その紹介で三井銀行に入行し、とんとん拍子に出世していきました。政府の特派経済委員としてアメリカに派遣されましたが、ここで日本のロータリークラブの発足のために重要な出会いがあります。ダラスロータリークラブの会員であった三井物産の福島喜三次氏との出会い、「ダラス邂逅」です。このあと、福島氏が帰国後、梅吉翁の協力を得て「東京ロータリークラブ」を設立したのです。梅吉翁が初代会長、福島氏が幹事でした。梅吉翁は生涯人のために尽くすことを信条として実行した人で、自分がしてもらいたくないことを人にしてはならないと常に言っていたそうです。素晴らしいですね。この梅吉翁にまつわるお話は、公益財団法人「米山梅吉記念館」のホームページに詳しく載っていますので、ご興味のある方、いや、ロータリアンならぜひ一読していただきたいと思います。「米山梅吉記念館」は駿東郡長泉町にあります。昨年7月に記念館入口にある龍舌蘭が93年ぶりに開花したそうです。見てみたかったなと思います。

●委員会報告●

雑誌委員会 後長伸太郎委員長

「ロータリーの友」の10月号見どころ。

【左綴じ頁】

・P 5～14 「さけづくりと、まちづくり」と



題して、地域社会に貢献する蔵元紹介

・P 32～33 10月24日の世界ポリオデー特集。ポリオの撲滅に向けた世界のロータリアンの活動紹介。

【右綴じ頁】

・P 2～6 シュウマイ弁当の「崎陽軒」紹介。

環境保全委員会 杉本 健委員長

11月1日に行われる静岡第3グループの合同奉仕作業、草薙神社環境保全活動のご案内と、ファイヤーサイドミーティングの開催の



お知らせ。環境保全活動は昨年までは三保海岸の方で実施されていましたが、今年は草薙神社で行われます。先着20名。続いてファイヤーサイドミーティングを「末廣鮎」で開催します。会費1万円。

●幹事報告●

2620 地区から委嘱状が届いています。寺戸常剛さんに2026-27年度地区副幹事・青少年交換委員会委員・RLI委員会委員を、杉本忠重さんにロータリー財団監査委員会委員を委嘱します。(児玉会長から2人に委嘱状) 10月20日の次回例会終了後、「エンドポリオ活動」を青葉公園で行います。それから11月8日、静岡第3グループの「エンドポリオキャンペーン」をJR清水駅東口で行います。



●おめでとう●

【誕生日お祝い】

●月●●日 歌川 鉄夫さん

●●月●日 松本 博士さん

【結婚記念日】

●月●●日 浅原 諒蔵さん・敦子さん

●●月●日 坂上 康さん・朋子さん

●●月●日 鈴木 礁さん・由貴さん

●●月●日 志田 洪顯さん・江美子さん

●スマイル●

松本 博士さん

「誕生日のお祝いを戴き有難うございました。●●歳になりました。●●代最後の一年も楽しく過ごしたいと思います。とりあえず10月12日の桑田佳祐フォークフェスティバルチケットは、手に入りませんでした。残念…！」

中村 光太郎さん

「お誕生日のお祝いありがとうございました。皆さまとのご縁を大切に、●●歳も楽しみたいと思います」

浅原 諒蔵さん

「●月●●日、結婚記念日に綺麗な鉢植えが届きました。今年で●●回目の記念日となりました。ありがとうございました」

牧田 晃子さん

「10月は米山月間です。本日、米山奨学生ヒョウさんの卓話を行います。よろしくお願いします」

北澤 哲也さん

「米山カウンセラーの北澤です。本日、奨学生のヒョウさんの卓話を務めさせていただきます。皆様、温かく見守ってくださるようお願いいたします」

中村 出さん

「9月23日の新会員懇親会では大変お世話

になりました。ありがとうございました。先週、お休みを頂きましたので今週、御礼させていただきます」

杉本 健さん

「10月2日に弊社主催のビジネス交流会をグランシップにて開催させていただきました。多くの皆様にご協力頂きましたので、感謝の心を込めて、スマイルさせていただきます」

鈴木 礁さん

「結婚記念日、ありがとうございます。同日、息子も結婚式を挙げました」

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人数 [※])	出席 会員数	欠席 会員数	暫定 出席率
10/ 6	109名	72名	37名	66.06%

※出席免除会員を引いた会員数。

出席免除会員は欠席しても出席扱いになるため。

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！

●ゲスト卓話●

米山奨学生委員会

米山奨学生 トラン・スアン・ヒョウ様

私が米山奨学生になってから6か月ぐらい経ちました。本日は私のことをより深く知っていただければ幸いです。生年月日は2000年1月1日です。所属は静岡大学新聞社会学部言語文化学科の3年です。趣味はサッカー、映画鑑賞、アニメ、漫画、旅行などです。昭和のことが好きで、SNSでの昭和の話とか昭和の記憶とかを調べて楽しんでいます。来日したのは2019年9月17日、朝日新聞奨学生として来日しました。コロナの前の時期でした。日本に来た理由は主に3つあって、両親から自立したかった、新しい環境に自分自身で挑戦したかった、そして漫画とアニメを通じて日本のことが大好きだったからです。日本への憧れもありました。日本は世界的に先進国として位置づけられていて、公共交通機関の便利さ、街の清潔さ、安全性、人々のマナーの良さや勤勉などが

高く評価されています。さらに、教育制度や研究環境も充実しており、学びたい分野を広めやすいと感じました。四季の美しさ、また伝統的な文化と現代文化、農業、そして食文化の多様性、これらのすべて私にとって大きな魅力でした。高校卒業してベトナムの大学に行くか留学するか悩んでいた際に、友人から一緒に日本に行き、勉強と仕事を両立しようと誘われて、両親ともよく相談した上で留学を決意しました。準備として半年ぐらい日本語センターで日本語だけではなく、日本の文化、マナーやルール、生活の習慣とかも学び、朝日新聞奨学会の試験を受けて合格しました。なぜ朝日新聞奨学会を選んだかというと、やっぱり私費留学はちょっと経済的に負担が非常に大きくて、両親にさらに重い負担をかけたくないという思いがありました。自分の人生に責任を持って、自分の力で道を切り開きたいと強く思い、新聞配達を始めました。体力的にも精神的にも大変でしたが、お店の方と、配達先のお客様がくださる励ましの言葉や笑顔が大きな励みになりました。田んぼの近くを原付で走っていて、突然鹿が現れてぶつかったこともあります。また、マンションのエレベーターに乗っている時に地震が起きて、停電で閉じ込められた経験もあります。こうした経験は、結果として忍耐力や冷静に対応する力を養ってくれました。

大学に入学してから、今はコンビニのスタッフをしています。レジの業務、清掃などのような業務をしています。コミュニケーションを身につけるいい機会になっております。また、ベトナム実習生と日本企業の間で通訳を頼まれたことがあり、実務的な言葉遣いや現場の調整方法、また業務経験の勉強になりました。このような経験は、将来的に国際的な職場で働く際に必ず役に立つと考えております。

私の出身地はベトナムのタンホアです。面積は静岡県よりちょっと大きく、人口はだいたい静岡県と同じくらいです。自然の山も海も、古い時代からの建築もあります。私は現在、静岡大学の国際課の国際交流ラウンジの学生スタッフとして勤めています。主な業務は、例えば新入生のオリエンテーションや説明会でのご案内、奨学金の紹介な

どを行っています。日本人学生と留学生が交流する勉強の企画運営もしています。交換学生の説明会などの司会進行、また通訳もやっておりまして、学内外の報告もインスタグラムでしています。たくさん友達ができてすごく嬉しいです。たくさんイベントも行っていて、たとえば自然の中で、日本人学生と留学生と一緒に歩きながら交流し、お互いの文化や学生生活について話し合う場を設けました。クリスマスにラウンジを飾り、ケーキ作りや母国のクリスマスに関する紹介を行うなどして、文化理解を含めることができました。また、卒業式の時に送別会を企画し、多くの笑顔に触れることができました。私は学外でも多くのボランティア活動に参加しております。また、県内や県外に出向き、フィールドワークを実施しています。たとえば工場で働く実習生と日本人社員の相互インタビューを行いました。インタビューでは、言語の壁や日常生活の不便、また職場でのコミュニケーションの難しさなどが挙げられました。このような活動を通じて調整力、問題発見力を養うことができました。これらの力を将来の仕事に生かしたく、国際営業や国際貿易のお客様と直接関わるサービス関連の仕事を志望しています。人と接しながら橋渡しとして働くことで、日本とベトナム、ひいてはアジア諸国の交流に貢献したいと考えております。もし、可能であれば、インターシップの機会や職場見学、あるいはアドバイスやご紹介などでご協力いただけたらと思います。私にとって日本での留学生活は挑戦の連続であり、そのたびに多くの方々に助けていただきました。先生方、先輩、友達、職場の方々、そしてロータリークラブの皆様のおかげで今日があります。この場をお借りして心から感謝申し上げます。これからも謙虚に学び続け、社会に貢献できる人間になるべく努力してまいります。

